

第7回 2016年11月15日(火)

第7回一流塾では、講師に大田弘子氏（政策研究大学院大学 教授、内閣府規制改革推進会議議長、元経済財政政策担当大臣）と、牧野明次氏（岩谷産業(株) 代表取締役会長兼 CEO）を、懇親会の特別ゲストには、野田聖子氏（衆議院議員、衆議院災害対策特別委員長、元自由民主党総務会長、元郵政大臣、元消費者行政推進担当・宇宙開発担当大臣）をお迎えしました。また懇親会には、一流塾特別顧問の福川伸次氏（(一財)地球産業文化研究所 顧問、東洋大学 理事長、元通商産業事務次官）と、講師の渡邊五郎氏（元三井物産(株) 副社長）にもご出席頂きました。



【講師 大田氏】

第1部では、『日本経済の成長戦略』と題して大田氏が講義を行いました。大田氏は、「内閣府規制改革推進会議」議長として、安倍政権の政策の一翼を担っていらっしゃいます。また、大手企業の社外取締役等も歴任されたり、様々なメディアにおいて専門の財政・経済政策に関する鋭い分析と明快なコメントを発したりするなど、幅広く活躍されています。講義の冒頭、これまでの日本経済低迷の推移とその背景をご紹介いただきました。そのうえで、アベノミクスで「3本の矢」という大胆な政策が実行されながら、なぜ実体経済はあまり伸びていないのかについてわかりやすくご説明頂きました。日本経済の現状と課題を踏まえ、潜在成長率を上げるためには企業の生産性向上が重要であり、特にサービス業の生産性革命が成長戦略の大きなテーマになるとお話し頂きました。また、これからは働き方の改革など時代の変化に応じた規制改革の推進が不可欠であることを明確にご説明いただきました。

終盤には、日本企業の強みや、経営者は外の目を持って経営の質を高めることの重要性、また中小企業でも変化に素早く対応することでピンチをチャンスに変えてさらに成長できることなどをお話し頂き、塾生を激励されました。塾生からは、「日本経済の分かりやすい説明で、日本企業がグローバルな競争力を失っている理由が明確になった」や、「規制改革の重要性と難しさが明確に理解できた」といった声があがりました。



【講師 牧野氏】

第2部では、『変革と成長に向けた決断』と題して牧野氏が講義を行いました。講義の前半では、ご自身が労働組合の委員長や子会社社長等を経て経営トップに就任するまでの、様々な困難をリーダーとしての強い意志で乗り越えられた軌跡についてお話し頂きました。お話の中では、営業所や子会社を立て直す際に現場で経験された数々の修羅場や、社長に就任されてから遭遇した負の遺産処理などについて、具体的なエピソードを交えながらご紹介頂きました。講義の後半では、苦境を乗り越える際には、悪いものは一気に出しきってしまうことを経営者の覚悟としてお伝え頂きました。また、経営トップは、耳が痛い話でも部下の言葉に耳を傾けること、一方で取締役は、言いにくい話でもトップにきちんと伝えることを、基本的な姿勢としてお話し頂きました。そのうえで、経営者は次の世代にどんな仕事を残すかが重要であり、必要なら独断専行でリーダーは新しいことにチャレンジするべきだと塾

生を励まされました。塾生からは、「覚悟を持って徹底的に改革に取り組まれた実行力に感銘を受けた」、「変化を歓迎し、未知の領域へ踏み込む勇気の大切さを痛感した」などの声が寄せられました。

懇親会では、渡邊氏から乾杯のご挨拶を頂いた後、特別ゲストの野田氏から『日本の再生』と題して、卓話を頂きました。野田氏からは、日本の人口がこれから急減する危機的な状況であることをデータと共にお示し頂き、日本の成長には、まずは女性の活用が不可欠であるとお話し頂きました。また女性だけでなく、さらに活用人材の対象を広げた新たな発想での経済政策も必要になってくることとお話し頂きました。塾生は、日本が抱える大きな問題に毅然と立ち向かう野田氏の志の高さに大いに感銘を受けていました。一方で、懇親会では塾生と気さくに交流され、その親しみやすい人柄に塾生が魅了されていました。卓話後には、講師陣との記念撮影が行われ、その後も各テーブルでは講師・ゲストと塾生とのオープンな意見交換や議論が続きしました。

懇親会後に開かれた塾生有志による塾長を囲む放談会では、袴を脱いだ交流で深夜まで大いに盛り上がりました。



【特別ゲスト 野田氏】



懇親会風景



放談会風景